（一社）建設コンサルタンツ協会認定CPDプログラム
プログラム番号（ 201704050006 ）

平成 29 年 4 月 7 日

（一社）全国圧入協会　技術講習会のご案内
『圧入工法による災害復旧・防災対策事例』 旭川会場

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
（一社）全国圧入協会は、北海道開発局旭川開発建設部様、北海道上川総合振興局様、（一社）建設コンサルタンツ協会北海道支部様、（一社）北海道測量設計業協会様、上川調査設計協会様、（一社）北海道建設業協会様、（一社）旭川建設業協会様の後援のもと、（一社）建設コンサルタンツ協会認定のCPDプログラムとして、JPA技術講習会『圧入工法による災害復旧・防災対策事例』（旭川会場）を開催します。

近年、災害の頻発で迅速な災害復旧が求められているとともに、事前のしっかりとした防災対策が求められている中、圧入工法は広範で多種多様な現場条件を有する北海道では有効な工法であると考えられ、国土交通省の「新技術情報提供システム（NETIS）」にも数多く登録され、広く活用されています。本技術講習会は、公共工事等に関わる課題の解決策の一つとして、圧入工法を紹介することで受発注者双方の技術力向上の一助にしていただくとともに、公共工事等における圧入工法の活用ならびに、建設業の生産性向上に寄与することを目的としております。
是非ご参加賜りますよう、宜しく申し上げます。

敬　具

記

◇主　　催：　（一社）全国圧入協会
◇後　　援：　北海道開発局旭川開発建設部、北海道上川総合振興局、
（一社）建設コンサルタンツ協会北海道支部、（一社）北海道測量設計業協会、
上川調査設計協会、（一社）北海道建設業協会、（一社）旭川建設業協会
◇講習会名：　JPA技術講習会『圧入工法による災害復旧・防災対策事例』 旭川会場
◇開 催 日：　**平成29年　5月26日（金）**　CPDプログラム番号：201704050006　3.0ポイント
◇開催時間：　技術講習会　13：15～16：30　（受付　12：45～13：15）
◇開催場所：　旭川建設業会館　4F大会議室
◇受 講 料：　無料
◇定　　員：　150名（申込者多数の場合は、人数調整をお願いする場合があります。）
◇申込方法：　当協会Webサイトの圧入技術講習会からお申込みください。
Webサイト　https://atsunyu.jp/course/
（初めてご利用の方は、Web利用者登録をお願いします。）
◇申込期限：　平成29年　5月15日（月）
◇問合せ先：　事務局　　藤岡・西村
Tel.　03－5781－9155　（平日9時～17時、土日・祝祭日除く）
Fax.　03－5781－9156
Email　　jpa@atsunyu.gr.jp

（一社）建設コンサルタンツ協会認定CPDプログラム
プログラム番号（ 201704050006 ）

〔技術講習会プログラム〕

■ 圧入工法による災害復旧・防災対策事例 ■

1. （一社）全国圧入協会について
2. 圧入工法について
   2-1. 圧入工法の基礎知識
   2-2. 圧入工法バリエーション
      ① 地盤別圧入工法
         （単独圧入、ウォータジェット併用圧入、オーガ併用圧入、回転切削圧入）
      ② 杭材別圧入工法
         （U形鋼矢板、鋼管矢板（杭）、900 ハット形鋼矢板、PC壁体、コンクリート矢板など）
      ③ 現場条件別圧入工法
         （ノンステージンク工法、狭隘地クリア工法、上部障害クリア法、近接安全工法など）
      ④ 組合せ鋼製壁体
         （コンビジャイロ工法）
   2-3.「圧入工法設計・施工指針」について
3. 工法選定について
4. 科学的施工管理について
   4-1. 圧入管理システム
   4-2. PPT

～休憩 15 分～

5. 災害復旧技術について
   5-1. 河川・海岸事例
   5-2. 港湾・漁港事例
   5-3. 道路・橋梁事例
   5-4. 鉄道事例
   5-5. 砂防・地滑り事例
6. 事前防災・減災技術について
   6-1. 河川・海岸事例
   6-2. 港湾・漁港事例
   6-3. 道路・橋梁事例
   6-4. 鉄道事例
   6-5. 砂防・地滑り事例
7. 圧入原理の学術的探究（国際圧入学会・IPA）
8. 質疑・応答

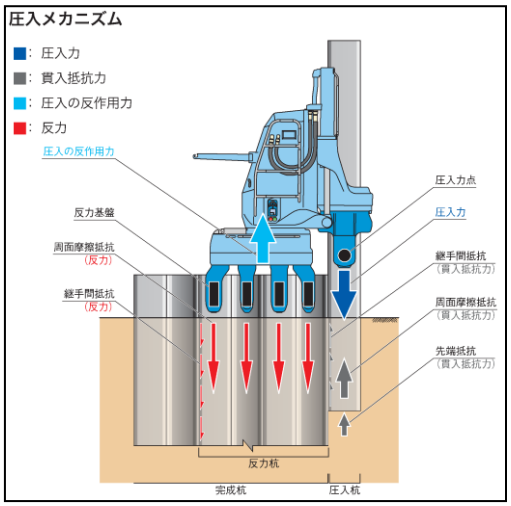
合計 195分

（一社）建設コンサルタンツ協会認定CPDプログラム
プログラム番号（ 201704050006 ）

【圧入工法の特長】

圧入工法はすでに打込まれた杭をつかんで、その杭の引抜抵抗力を反力とし、静的荷重で次の杭を地中に押し込む原理である。このため、振動や騒音が許されない市街地、傾斜地や水上施工、重機が入らない狭隘地、道路橋や高圧電線など上部に障害のある場所など、多種多様な現場条件を克服できる。

地盤条件によって単独圧入、ウォータジェット併用圧入、オーガ併用圧入、回転切削圧入の貫入技術を選択でき、硬質地盤にも適用範囲は広がっている。さらに、地震や水害などで地盤が緩んでいても、地球と一体化した反力杭をつかんでいる圧入機は転倒の危険性は無く、安全かつ迅速な災害復旧工事を可能とした。



圧入メカニズム



地盤条件による貫入技術





災害復旧や防災・減災工事の施工例

（一社）建設コンサルタンツ協会認定CPDプログラム
プログラム番号（ 201704050006 ）

〔会場案内図〕



◇**開催会場** ：旭川建設業会館　4F大会議室
〒070-0035 北海道旭川市 5 条通 5 丁目左 10 号
TEL　0166-22-5144
●お車の場合は、周辺有料駐車場をご利用下さい。
なるべく公共交通機関をご利用ください。





◇**ご用意頂くもの**：
筆記用具をお持ちください。

以　上